



将来に備えた新たな 財源確保の考えは

馬淵 紀明議員

より効果的な財源確保を検討する
総務部長



▲第3次愛西市行政改革大綱 取組体系図

問 市長は、「昨年4月に策定した第3次愛西市行政改革大綱に基づき、歳入歳出両面から安定した行財政運営を目指して取り組んでいく」と施政方針で話したが、有料広告の実績は。

答 令和2年度が477万3500円。3年度が269万3700円。

問 ネーミングライツの募集状況は。また、対象の施設、ネーミングライツ

答 令和3年度に1件。金額は80万円。

ツ料はいくらか。

答 現在まで応募はない。対象施設は、親水公園総合体育館。ネーミングライツ料は年100万円以上。

問 ふるさと応援寄附金は、寄附額が増加しているが大変評価できる。企業版ふるさと納税の寄附実績と金額は。

答 製造業と流通業。開発面積は、約13ヘクタールで検討している。

問 南河田工業団地の税収はいくらか。

答 令和4年度は、約1億5千万円を見込んでいます。

問 愛西市南部地区工業団地の企業誘致を進めているが、業種は何か。また、開発面積は。

答 製造業と流通業。開発面積は、約13ヘクタールで検討している。

問 有料広告の実績は減少傾向。ネーミングライツは、現状応募がない。企業版ふるさと納税は、返礼品もなく寄附額が全て財源となる。今以上に積極的に企業へ営業し続けてほしい。安定した財源確保となることを期待したい企業誘致は、計画的に進めてほしいが、ふるさと納税の寄附金が確保できているうちに、その収入を有効活用し、将

来に備えた新たな財源確保も必要ではないか。市の考えは。

答 既存の取り組みを継続して進めていくと同時に、企業誘致などで人口減少等による市税の収入減少への対策に取り組んでいる。また、弥富インター周辺部における新たな工業用地の創出により、財源の確保につなげていきたいと考えている。今後も引き続き、より効果的な財源確保について検討していく。